

関東支部会報 第2号（2021年7月発行）

支部長 N T

皆さま、いかがお過ごしでしょうか。日頃からサーバス活動にご参加頂きありがとうございます。私の住む東京の水元公園で夏に咲く大きな蓮の花が咲き始めました。梅雨で今日も雨が降っていますが、もうすぐ暑い夏がやってきます。そしてオリンピックも始まります。

6月30日に2回目のコロナ・ワクチン接種を大手町の大規模接種センターで受けることが出来ました。安心してサーバス旅行に出かけたり、トラベラーを引き受けたりするには今のところこのワクチン接種は欠かせないのではないかと考えています。

掲載内容

1. 3月27日に行われた支部総会の報告他
2. サーバス体験談（投稿）
 - ・ ASさん・TSさん



1. 支部総会の報告

関東支部 支部総会 2021年3月27日 14時～17時
Zoom で On Line Meetingを行う 出席者 14名

(1) 2020年度の活動と会計報告と2021年度の活動計画と予算について報告され、賛成多数で原案通り承認されました。

活動報告 支部総会

7月4日、市ヶ谷『JICA地球ひろば』で開催。支部活動・会計の報告と新役員の選任を行い承認される。2021年からLOIの発行方式が変わること、コロナ禍で例会などはOn Line Meetingで行うことになること、支部のサーバス旗をつくる事などを報告する。参加者11名

秋の支部例会

10月5日、コロナ禍の中、会場での例会は無理と判断しOn Line Meetingで秋の支部例会を行う。3名によるサーバス体験談の発表と参加者による近況報告を行う。参加者14名

秋の懇親会

10月21日、秋の親睦会（アートパラ深川を訪ねる）を行う。全国から応募された障害のある方のアート作品が展示されている深川不動、仲見世、富岡八幡宮、深川資料館通り、清澄庭園を訪ねる。参加者8名



サーバス台北との交流会

10月22日、On Line Meetingで台湾・サーバス台北市と交流会を行う。3月19日~22日の3泊4日、台北市で開催予定の交流会がコロナ禍で急遽延期となり、交流会再開までに取り敢えずバーチャル交流会を行う。参加者15名

支部のホームページを移設し支部会報を掲載

12月末で支部ホームページを閉じ、本部ホームページ会員専用のページに新たに支部会報コーナーを開設し、1月に第1号を掲載する。

2021年度の活動計画

支部総会

3月27日、On Line Meetingで支部会を行う。

秋の支部例会

10月頃にコロナの感染が収まれば、JICA地球広場で支部例会を開催予定。

秋の親睦会

11月頃、親睦会、或いは親睦会に変えてSOL・L O I 講習会を開催予定。



(2) 3月13日にOn Lineで行われた国内会議の報告

・日本サーバス新役員（任期2021年4月～2023年3月）

会長（東海北陸）SN	副会長（東海北陸）YK
会計（東海北陸）AM	会計監査（九州支部）TH
HC（近畿支部）MT	IT委員長（関東支部）HY
ユース部長（九州支部）YN	

・2023年4月からのA業務に九州支部が推薦される。

・新規入会者の年会費について（12月に行われた臨時国内会議で）

新規入会者の年会費は1月～4月は3,000円、5月～8月は2,000円、10月～12月は1,000円とする。

・国際会議関係について

『International Conference』は従来通り。

『東アジア会議』については会議というよりかむしろ交流会的なものであるため、日本が担当になればとても対応が出来ないことを考慮し、次回の会議で日本サーバスは以後参加しないことを表明する。

・その他

ホームページで『本部からの報告』2021年3月国内会議議事録をご参照ください。

(3) 会員によるサーバス体験談の発表。

- ・ASさん 『長年のサーバスとの付き合い』
- ・TSさん 『サーバスを通して知った交流とは？』

(4) Zoomを使ってSOLのログインとLOIの作成講習

- ・ 3月26日Zoomお試し会でKさん、Sさん
- ・ 3月27日支部会でSさん、Tさん、Cさん
の方々とZoomを使ってSOLやLOIの講習を行う。



『 Zoomを使っての交流会』 副支部長 ST

コロナ禍でサーバス活動のできない私達は、何とか会員同士の繋がりを深く結ぶ方法はないかしらと考え、結論を出したのがZoomを使って会員の交流を深めることでした。

Zoomを使った事が無いですという方にはメールでURLさえ受信できるなら簡単に参加できますよと促し、Zoom meetingで初顔合わせをして、サーバス体験談を語ってもらいましょうと支部長のTさんとすぐに意見が一致しました。それから2021年から改正されたSOLの新規登録方法などを画面共有してみんなで学習をしていく。というのも海外に出かけられるようになったら皆がすぐ必要な事ですので今からでも準備しておくのも重要な事と考えました。Zoomを使うと日頃開かれる支部例会に出席できない方々にも参加して頂き、お名前もお顔も分からないままだったところが、やはり、対面でお話ししてみると、まるで昔からの知り合いの様に、初めての試みにもかかわらず、感じてしまいました。既知の間柄に思えたのには驚きでした。

この様にして難局を切り抜けて行こうと数回、今のところ実施しています。これからは絆をこの様な方法で深めていけたらと思っています。

2. サーバス体験談（投稿）

『長年のサーバスとの付き合い』

前橋市

AS

1980年に「サーバスアメリカ訪問団」に参加したのが私のサーバスとの付き合いの始まりであった。

1975年英語教師10年目の時 ペンシルベニア州立大学に短期留学の機会を得、 4ヶ月間大学の講義、オクラホマ市の小・中・高での教育実習、米大陸をバスで横断などの体験をし、「この眼で見ることの大切さ」を実感した。

サーバス訪問団で最も印象に残ったのは、8月6日、ロサンゼルスでの「ヒロシマ・デー」に参加したこと。市内44の団体が合同で行う平和行事で、市街地をピースリボンで取り囲み、“No More Hiroshima、Hibakusha!”等のプラカードを掲げてアピールする壮大なもの。ハリウッドの女優なども参加し、楽しい催しだった。その路上で「誰か英語の先生はいませんか？」と声をかけてきた男性。この人がドイツの強制収容所を生きのび、その体験を著した“Don't Fence Me In”、の著者だった。帰国後すぐに訳し、出版したのが「地獄を見た少年」（岩波書店）である。その後この本は岩波同時代ライブラリーに収められている。



その後は70名以上のトラベラーがわが家を訪れ、いろいろな体験をした。ここ8年余は義父母の介護と見送り、夫の看護等が続き活動はできていない。しかし国際本部から出される年報を読んだり、長年のサーバス友とのメールのやりとりは続けている。オーストラリアのCとI夫妻、アメリカ人のC、デンマークのSなどである。



ノルウェーのBは3回我が家に来て、3度目には日本人の奥さんを連れてきた。スイスのHは女子大生の頃一人できて、卒業してから友達を連れてまたやってきた。

Cとのつき合いは一番長く、37年になる。彼女はシリコンバレーで電子機器のマニュアル作りを仕事としていたが、日本を手始めに6か国に移住し、今はイタリアのトスカーナの僻地にオランダ人の伴侶と暮らしている。100人の村人のうち7人がコロナに感染したと書いてきた。彼女が山の中で育てたハーブのポプリが今私の目の前でよい香りを放っている。

デンマークのSはソ連時代、シベリア鉄道に一週間乗ってやって来た。来た翌日には私の学校の遠足で生徒と一緒に伊香保の温泉に入ったりした。

1986年チェルノブイリ事故の時は、デンマークも被害を受けたため、フクシマ原発の事故のときは、すぐにメールが来て経過を逐一聞いて来るのだが、日本政府の対応が遅く、当方も返答できず困った。「原子力資料情報室」に英文サイトがあるので見るよう促した。この情報室の代表は高木仁三郎（前橋出身）で反原発運動全国集会事務局長（1988）であった。後年デンマークを訪ねた折、彼は奥さんと私等をスエーデンの原発の見える所（20キロメートル先）まで連れて行ってくれた。デンマークに原発はない。彼は職業高校で教えていたが、定年後は刑務所で学習ボランティアをしている。最近は中国人の囚人が増えているという。



オーストラリアのCとI夫妻はサイクリストで我が家滞在中、あちこちへ出かけていたが、ある時は県北の尾瀬沼近くの温泉地まで行き、民家に泊めてもらってきた。現在Cはパースの植物園で解説員をしている。

まだ書きたいことはいろいろあるが長くなるのでこの辺で報告を終わりにしたい。

『サーバスを通して知った交流とは？』 TS

私は知り合いに紹介頂きサーバスのデイホストを始めました。
2017年からだったと思います。

登録してから数か月後、韓国の大邱（テグ）に住んでいるご夫婦から横浜を案内してほしいと依頼されました。出来ない英語を文章にしてやり取りしていました。今も後から読んでみて、私のこの英文で信用して頂けたのが不思議なくらいです。これもサーバスの理念やきちんとした組織であるという裏付けがあるからだろうと思います。

そして韓国の大邱の夫妻には横浜の観光地を紹介しようと、桜木町駅で待ち合わせしました。ご主人のBYさんは人懐っこく始めから元気いっぱいでした。奥様は写真に撮られるのが大好きで沢山のポーズをとって横浜の背景と共に楽しんでいました。



お二人とも観光案内の本を持って、「ここは行かれた！」と印をつけて満足そうでした。主に横浜の展望台の目印のランドマークタワー、みなとみらいの自動車道、赤レンガ倉庫、山下公園、中華街、元町が案内させて頂いたコースでした。

ご夫婦ともに積極的に楽しまれたようで、BYさんは身体の弱い奥様を気遣いながらも「来年は大邸にきてください。」と仰ってください、お昼を中華街で取った後お別れしました。初めてのデイホストは緊張しましたが終始笑顔でお二人がいてくださっていたのが本当に嬉しかったです。

さて、私がデイホストでご案内ができた3人目の方はドイツ人の女性でした。

おそらく教育関係のお仕事をされていたのではないかと思います。ドイツ語の発音が難しく、失礼なことです。がともに彼女の名前も発音して呼べなかった気がします。

池袋にひとりでいらした彼女は日本に来た初日の数時間を有意義に過ごしたい、とのことで池袋での観光を希望していました。「食事は？」と聞いても必要ないと言いますし、「何か飲みたい？」と言っても必要ない、と言葉が返ってくるので「サンシャインの展望台はどうか？」と尋ねると行ってみるということになったので気が進まないのかどうか分かりませんでしたが行くと思ったより楽しめたようで彼女の笑顔が見ることができて嬉しかったです。



私はこの時期日本では夏に花火をよくやることを伝えて家から持参してきた花火を池袋の公園でやらないかと彼女に提案しました。ところが池袋で見つけた公園は花火が禁止となっていました。

悩んでいると彼女は「私は誰かに花火をしているところが見つかったら私は外国から来たから何も分からないふりするわ」と少し茶目っ気に言うので、思わず公園の隅の一角で二人で花火をして少しの間遊んでしまいました。



サーバスでデイホストを通して旅行者の方と触れ合って少し感じたことを最後にまとめたいと思います。

サーバス会員は人と人の触れ合いや意思をととても尊重していると思いました。皆それぞれの良さや持ち味を活かしながら既存の枠にとらわれない独創性豊かな個性でお互いを支え合っていると感じました。

しばらくデイホストの体験もなく、日々が過ぎていっていますがこの期間を自分の反省を顧みる良きチャンスと思い、また次のデイホストが出来る日を楽しみにしたいと思います。

サーバス台北市 Jo-Jo会員より

台北市との交流会に参加されたJo-Jo
さんから届きましたワクチンのお礼
(STさんより)

